HONDA

2026 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名: 本田技研工業株式会社
代表者名: 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏
(コード番号 7267, 東証プライム市場)
問合せ先: 経理財務統括部 統括部長
高橋 純洋
(TEL: 03-3423-1111)

北米における新四輪車生産工場の建設および生産拠点への設備投資決定のお知らせ

本日、当社は、北米で拡大するハイブリッド車需要への対応を強化するため、米国オハイオ州での新たな四輪車生産工場の建設と、カナダを含む北米の複数の生産拠点への設備投資を決定しました。

詳細は、別添プレスリリースをご参照ください。

なお、本件が当社の 2027 年 3 月期連結業績に与える影響は軽微です。

以上

HONDA

News Release

2026 年 11 月 10 日

Honda の米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州トーランス 社長：藤村 英司）は、現地時間 2026 年 11 月 9 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

北米で、新四輪車生産工場の建設および生産拠点への設備投資を決定
～北米でのハイブリッド車の需要増加に対応し、生産体制を強化～

Honda は、北米で拡大するハイブリッド車需要への対応を強化するため、米国オハイオ州での新たな四輪車生産工場の建設と、カナダを含む北米の複数の生産拠点への設備投資を決定しました。新工場の年間生産能力は 24 万台を予定しており、2029 年中の稼働開始を目指します。また、新工場の建設に伴い、新たに約 2,000 人を雇用する予定です。

Honda は、2026 年 5 月に、グローバルで拡大するハイブリッド車の需要を見据え、開発・生産リソースをハイブリッド車に重点的に配分するとともに、ハイブリッドシステムとプラットフォームを刷新した次世代ハイブリッドモデルを 2029 年度までにグローバルで 15 モデル投入する計画を発表しています。

北米はその主要市場であり、お客様の需要に応え続けるとともに、事業のさらなる成長と競争力向上を実現するためには、北米におけるハイブリッド車の生産体制の強化が必要であると考え、投資の検討を進めてきました。その結果、米国オハイオ州での新工場の建設と、カナダを含む北米の複数の生産拠点への新たな設備投資を決定しました。

さらに、米国にて開発・生産する複数の D セグメント以上の大型ハイブリッド車を 2029 年以降、順次投入していきます。今回の投資による生産体制の強化を通じて、こうした北米でのハイブリッド車のラインアップ拡大を実現していきます。

【新四輪車生産工場の建設（米国 オハイオ州）】

新工場は、米国オハイオ州のイーストリバティ四輪車工場とメアリズビル四輪車工場の中間に位置する土地に建設され、北米で 8 番目の四輪車生産工場となります。年間最大生産能力は 24 万台を予定しており、これにより、Honda の北米全体での四輪車生産能力は、現在の 167 万台から 191 万台に引き上げられます。工程の自動化やデジタル技術の活用による知能化を進め、生産性の向上を図るとともに、ハイブリッド車、ICE（内燃機関）車、そして EV の生産にも柔軟に対応できる体制とすることで、現在拡大するハイブリッド車の需要に対応する生産能力を確保しながら、将来のお客様の需要や市場環境の変化に応じた調整力も備えます。新工場の建設には約 30 億 US ドルを投資し、稼働開始は 2029 年中を目指します。新工場の稼働により、新たに約 2,000 人の雇用が創出される予定です。

【北米の複数の生産拠点への設備投資】

ハイブリッド車と、ハイブリッドシステムおよびエンジンの生産能力拡大を図るため、北米の複数の生産拠点への設備投資を以下の通り行います。

■アラバマ四輪車工場（米国 アラバマ州）

北米で 2029 年以降に販売を予定している D セグメント以上の大型ハイブリッド車の生産や、次世代 V6 エンジンの生産能力拡大に対応するために、生産設備を更新します。生産ラインの大規模改修により、複数モデルを柔軟に生産できる体制を構築します。

■アンナ・エンジン工場（米国 オハイオ州）
　既存の生産ラインを再編し、次世代ハイブリッドシステム向けエンジンの生産を新たに開始します。さらに、敷地内の部品物流集約センターを拡張し、物流効率の改善を図ることで、将来の生産拡大に備えます。

■トランスミッション工場（米国 オハイオ州・ジョージア州）
　オハイオ・トランスミッション工場では、C セグメントのハイブリッド車、ならびに D セグメント以上の大型ハイブリッド車にそれぞれ搭載予定の 2 種類の次世代ハイブリッドシステムの生産に対応するため、生産設備の再編を行います。これにより、今後数年間でハイブリッドシステムの生産能力は約 3.5 倍になります。
　また、ジョージア・トランスミッション工場では、今後数年以内に、新たな組み立てラインを導入し、D セグメント以上の大型ハイブリッド車向けのハイブリッドシステムの生産を開始します。

■ホンダ・オブ・カナダ・マニュファクチュアリング（カナダ オンタリオ州）
　カナダで四輪車を生産するホンダ・オブ・カナダ・マニュファクチュアリング※では、次世代のハイブリッドモデルおよび ICE モデルの生産に対応するため、生産設備の刷新と最新の生産技術や設備を導入します。これにより、製造品質や生産効率および柔軟性のさらなる向上を図ります。

　Honda は「需要のあるところで生産する」という考え方のもと、1982 年に日本の自動車メーカーとして初めて米国で四輪車生産を開始して以来、約半世紀にわたり北米で事業を展開してきました。今回の投資を通じて、競争力や商品投入スピードの向上、サプライチェーンの強化を図ることで、お客様への提供価値をさらに高めるとともに、次の 50 年を見据えた持続的な成長基盤の構築を目指します。

※Honda のカナダにおける四輪車生産・販売子会社である Honda Canada Inc.の生産部門

アメリカン・ホンダモーター
エグゼクティブ・バイスプレジデント Bob Nelson（ボブ・ネルソン）のコメント

「米国で四輪車の現地生産を開始してから、まもなく半世紀の節目を迎えます。新工場の建設をはじめ、既存の生産拠点への投資など、次の 50 年を支える車両開発や生産の基盤を築くための取り組みを発表できることをうれしく思います。北米での生産能力を強化することで、お客様の多様なニーズに応えるとともに、Honda のグローバルビジネスにおいて、北米はこれまで以上に、重要な役割を果たしていきます」